

最近皆さんが触れる機会も増えてきたと思いますが、「パワーポイント」といえば、ビジネスでプレゼンテーションをするために使用するソフトというイメージが強いと思います。企業のホームページなどにも、パワーポイントを使った収益や営業戦略についての資料が載せられていますし、通常の会議などでも多く用いられています。私が留学していた当時、何度か発表を行なう機会がありましたが、まだまだOHP用の透明なシートにペンで書いたり、直接印刷したりすることが主流でした。あの頃、こんな便利なソフトを利用できたならば、もっと要点を分かりやすく相手に伝えることが出来たかもしれないと思わずにはられません。

そこで、大学生活の中で必要なプレゼンテーションの技能と英語のスキルを向上させるために、パワーポイントを利用するという例をご紹介します。

たった1、2分の日本語のスピーチでも、原稿も何も見ないで、人前で発表するということはなかなか難しいことです。母国語のスピーチですら、緊張してしまうと頭の中が真っ白になりますから、相応の練習が必要です。では、より簡単に視覚的効果の助けも借りながら、伝えたいことを表現する手段はないのでしょうか？それを可能にしてくれるのが、パワーポイントなのです。話の要点と、図やグラフはすでにスライドにあるのですから、それを見ながら、「紙芝居をする」と考えれば、気持ちがずっと楽になること請け合いです。

スライドの作成方法は、それほど難しくはありません。一年生の英語の授業では、英文の文書を作成する練習をした後、各自が簡単なホームページを作って、英語による自己紹介を公開しています。ですからそのスキルが利用できます。まず集中してもらいたいのは、論旨が明確な内容のある英文を生み出すことです。この過程においては、テーマに沿って資料の収集・分析をしなければなりませんので、大学生としての基本的な勉強法も身に付くはずですよ。例を挙げてみましょう。数年前「タイタニック」という映画が大ヒットしましたが、その理由はどこにあったのでしょうか。

(A1 / 2 使用テキスト : English and Internet 4th ed. より)

**理由1:** 悲劇的なストーリーが人々の心を打った。

**理由2:** キャスティングに成功した。

**理由3:** テーマソングがストーリーを盛り上げた。

**理由4:** 映画撮影の特殊効果が優れていた。

以上のような4つの骨組みを抽出した上で、それぞれの理由について具体的な例をあげていけば、より明確に自分の考えを補強することが出来ます。伝えたいことが確固としていれば、一つの理由につき一枚のスライドを用意したところで、ひとまずは十分なレベルに達すると思います。

次にスライドが完成してからですが、次の作業と練習を行なうのとは行なわないのでは、パワーポイントの活用度に大きな差が出ます。

## パワーポイント活用法

### 英語でプレゼンテーションをする

阿部真理子



**SKILLUP**  
スキルブラッシュアップ  
**BRUSH UP**

- ① スライドが完成（例：図1）
- ② 配布資料用に設定をして印刷する。（例：図2）
- ③ 発表練習はいすに座わらず、立って声を出すことをお薦めする。発音や抑揚だけではなく、声のボリュームやペース配分も重要になるので、スライドを印刷して手に持ちたい。
- ④ 発表する際は、ポイントとなるキーワードを見ながら、頭の中で英文を再構築する。ここでの最大目標は、スムーズに発話すること。
- ⑤ 可能であれば、発表を録画して客観的に自分を分析できればベスト。

図1

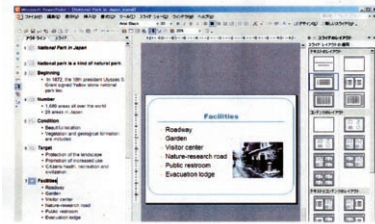


図2 (例2)



## MARIKO ABE

経済学部講師。  
岡山県出身。ランカスター大学言語学科  
TESOL 修士課程終了。2004年より高崎  
経済大学経済学部講師。専門は英語教育お  
よび第二言語習得。特に学習者コーパスを  
利用した研究を中心に行なっている。

ここまで読んでみて、プレゼンテーションに積極的に取り組んでみたいと思いませんか？ パワーポイントを手段にして、英語で発表するということを目標にきちんと勉強すると、英語圏の論文に特徴的な文章構成法をマスターしながら、英語のスキルを向上させることが可能になります。また同時に自分から、発信する力をアップすることができるはず。たとえパワーポイントのスライドがなくても、ある一つの事柄について、説得力を持った見解を打ち出したり、議論を展開させたりする能力はこれからの人生において、とても重要です。その能力を培う訓練を助けてくれるのが、パワーポイントであると考えことはできませんか。

最後にみなさんの先輩方の感想とともに。昨年のクラスで、パワーポイントを用いた英語の発表を行なった後、それぞれに自己分析してもらいました。その中で、「簡単な内容でも、自分の考えを英語で相手に伝え、共感してもらうのはとても難しいことが分かった」というような意見が多くありました。このことを大学時代に実感するだけでも、パワーポイントを活用して発表練習を行なうことには、意味があるように思います。

